

中学校 第1学年 理科学習指導案

(内容) 第1学年 身の回りの物質とその性質「ガスバーナーの使い方」(1/3時間)

(目標) ガスバーナーを適切に使うことができる。

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 10分	1. 単元を通して探究する課題を設定する。	・白砂糖、グラニュー糖、デンプン、食塩を提示し、それらを区別する方法を問う。	Google ドライブ [容易な提示]
	探究課題 4種類の白い粉末の性質を調べて区別しよう		
	2. 本時の課題を把握する。	・探究する課題を設定した際の生徒の疑問や気付きから、加熱に関するものを取り上げる。 「砂糖は加熱すると焦げると思う。」 「加熱した時の様子が違うと考える。」	
めあて ガスバーナーの使い方を身に付けよう			
	3. ガスバーナーの使い方を確認する。	・ガスバーナーの使い方を提示し、部分の名称や操作の順序を説明する。	Google ドライブ [容易な提示]
展開 35分	4. ペアでガスバーナーの使い方を確認しながら練習する。	・「操作する生徒」と「観察する生徒」を決め、観察する人は操作する人のChromebookを使って操作の様子を撮影することを説明する。 ・見通しが立たない生徒には、使い方を読み上げながら操作するよう伝える。	カメラ [自分の現状の把握]
	5. ペアや班で、各自の操作の様子について気付きを出し合い、技能の習得・習熟に向けての留意点を確認する。	・操作する生徒と観察する生徒が一緒に動画を視聴し、よい点や課題となる点を確認することを説明する。 ・大きい画角で撮影している生徒の動画を取り上げ、燃えさし入れの位置や頭の位置等の留意点を確認する。	カメラ [対話的な学びの促進]
	6. 対話での指摘を基に練習し、技能の習得・習熟を図る。	・練習しながら、適宜撮影した複数回の操作記録を比較し、自己の変容を捉えるよう促す。	カメラ [自分の変容の把握]
終末 5分	7. 学びを振り返る。	・自己の操作の習得状況を判断することを確認する。	Google フォーム [つまずきの把握]